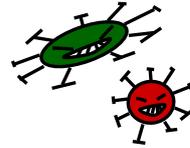
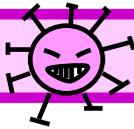


感染症に気をつけよう!

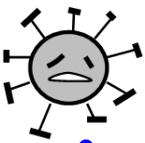
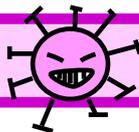
2016年【12月号】

横浜市内の感染症 流行状況

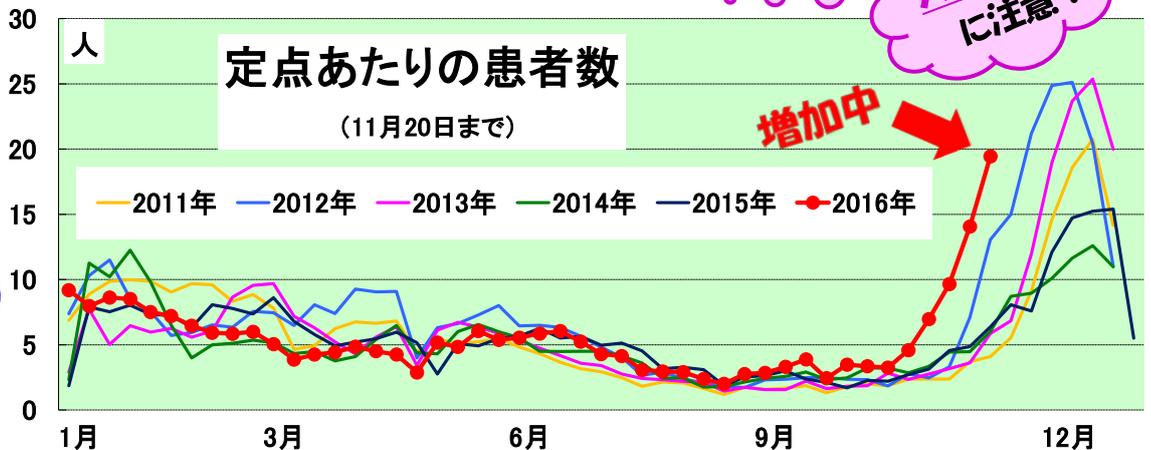


感染症	流行状況		説明 <small>【解説付き既刊号等】</small> ← クリック
感染性胃腸炎	流行	増加	すでに8区で警報レベルです。保育園や高齢者施設等での集団感染も報告されています。【'16.1号】【ちらし】
インフルエンザ	やや流行	増加	例年より早く、流行期に入りました。学級閉鎖も主に小中学校で発生しています。【'16.11号】【ちらし】【Q&A】
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	やや流行	横ばい	全国的に例年より多い状況が継続中で、市内でも注意報レベルの区があります。【'16.6号】【ワクチンちらし】

今、気をつけたい感染症 感染性胃腸炎



予防方法は...



- ✓ ごく少量のウイルスが口から体内に入っただけで感染...
- ✓ トイレの後、調理や食事の前など、衛生的な手洗いを習慣に!



- ✓ 患者の便や嘔吐物に含まれるウイルスから感染拡大...
- ✓ 処理する時は、ウイルスが飛び散らないよう慎重に!



- ✓ 食品の調理は中心部までよく加熱すれば安心...
- ✓ 85~90℃で90秒以上!



- ✓ 消毒薬には、次亜塩素酸ナトリウムを正しく希釈して...
- ✓ 家庭なら塩素系漂白剤で!

横浜市衛生研究所 感染症・疫学情報課
【横浜市感染症情報センター】

